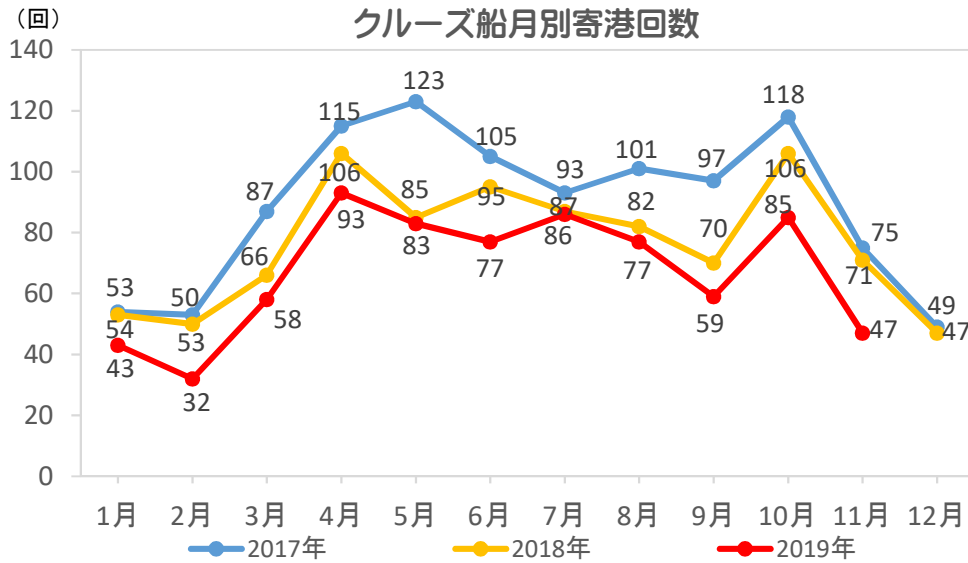


九州クルーズレポート (12月号)

2019年（令和元年）九州管内港湾におけるクルーズ船寄港回数

●11月の速報値 前年同月比33.8%減の47回

- ・2019年11月の九州管内港湾におけるクルーズ船寄港回数は、前年同月比33.8%減の47回。
- ・2019年11月までの九州管内港湾におけるクルーズ船寄港回数は、前年同期比15.0%減の740回。



(単位:回)

クルーズ船の寄港回数	九州管内（山口県下関港を含む）												参考:全国				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~11月合計	1~12月合計	1~11月合計	1~12月合計	
2017年	外国船社	51	53	71	104	106	101	84	98	91	86	65	47	910	957	1,932	2,013
	日本船社	3	0	16	11	17	4	9	3	6	32	10	2	111	113	672	751
	計	54	53	87	115	123	105	93	101	97	118	75	49	1,021	1,070	2,604	2,764
2018年	外国船社	49	50	53	95	77	89	76	79	64	74	65	45	771	816	1,845	1,913
	日本船社	4	0	13	11	8	6	11	3	6	32	6	2	100	102	937	1,017
	計	53	50	66	106	85	95	87	82	70	106	71	47	871	918	2,782	2,930
2019年	外国船社	38	31	45	74	68	65	75	72	57	58	42		625		1,855	
	日本船社	5	1	13	19	15	12	11	5	2	27	5		115		881	
	計	43	32	58	93	83	77	86	77	59	85	47		740		2,736	
前年同月比伸び率(%)	外国船社	-22.4	-38.0	-15.1	-22.1	-11.7	-27.0	-1.3	-8.9	-10.9	-21.6	-35.4		-18.9		0.5	
	日本船社	25.0	-	0.0	72.7	87.5	100.0	0.0	66.7	-66.7	-15.6	-16.7		15.0		-6.0	
	計	-18.9	-36.0	-12.1	-12.3	-2.4	-18.9	-1.1	-6.1	-15.7	-19.8	-33.8		-15.0		-1.7	

出所: 港湾管理者からの聞き取りに基づき九州地方整備局で作成

各港における2019年11月までの寄港回数(計: 740回) ※寄港回数は令和元年12月1日現在の速報値であり、後日変更される場合があります。

港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数
博多	220回	下関	23回	別府	19回	油津	7回	平土野	3回	古仁屋漁港	2回	和泊	1回
長崎	171回	名瀬	20回	宮之浦	17回	西之表	6回	福江	3回	厳原	1回		
鹿児島	99回	北九州	20回	唐津	11回	青方	4回	宮崎	2回	与論	1回		
佐世保	77回	八代	19回	細島	8回	熊本	3回	郷ノ浦	2回	佐伯	1回		

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

港湾計画課

計画企画官 工藤 寛之 (くどう ひろゆき)

クルーズ振興・港湾物流企画室 課長補佐 西坂 博文 (にしざか ひろふみ)

TEL:092-418-3340 (代表)

TEL:092-418-3379 (直通) FAX:092-418-3037

●下関港 クルーズ拠点整備に向けて着工式

2019年11月17日に下関港国際クルーズ拠点整備事業の着工式を開催し、当日は国会議員をはじめ、山口県、下関市の議員の方々や下関港関係者など、およそ60名が参加しました。

下関港は平成31年4月に官民連携による国際クルーズ拠点の形成を推進するための「国際旅客船拠点形成港湾」に指定されました。本事業は、国際クルーズ拠点の形成に伴う東アジアを周遊するクルーズ船の寄港増加に対応するため、国、下関市、MSCクルーズ社が連携し、クルーズ拠点（岸壁や旅客ターミナル等）を整備するものです。クルーズ拠点の完成後は、下関港に多くのクルーズ船寄港が可能となり、世界各国からクルーズ旅客が訪れることで、地域の活性化に大きく貢献することが期待されます。今後、下関港国際クルーズ拠点の供用に向け、地元自治体と一体となって取り組んで参ります。



着工式の様子（テープカット）



記念撮影

（左から：高田港湾局長、前田下関市長、モレリMSCクルーズジャパン社長）



工事着工状況（岸壁前面の床掘）



事業箇所

●中国の客船「ピアノ・ランド」が博多港へ初寄港！

× 2019年11月11日、中国のアストロ・オーシャン・インターナショナル・クルーズ社の「ピアノ・ランド」（総トン数69,840トン）が博多港に初寄港しました。

同社は中国大手海運会社の中国遠洋海運集団（COSCO）と旅行会社の中国旅游集団（CTS）が合併で設立した新しい船社で、英国のP & Oクルーズから「オリアナ」を買受け、「ピアノ・ランド」として今秋より運航を開始しました。今回は上海発着で、博多に寄港する4泊5日の行程で、船内では初寄港を記念して歓迎式典が行われたほか、船内見学も行われました。



ピアノ・ランド（博多港）



歓迎式典での記念撮影

九州管内港湾におけるクルーズ客船寄港回数と乗船客数(11月実績)

港湾名	寄港回数	乗船客数	港湾名	寄港回数	乗船客数	港湾名	寄港回数	乗船客数
長崎	15回	51,098人	佐世保	2回	7,324人	宮之浦	1回	400人
博多	15回	50,191人	別府	2回	1,278人			
鹿児島	7回	13,597人	福江	2回	938人			
北九州	2回	7,529人	八代	1回	5,035人			

※寄港回数及び乗船客数は、令和元年12月1日現在の速報値であり、後日変更される場合があります。

※乗船客数は、一部の港湾において概数表記されている場合があります。

「クルーズ振興」に関する情報提供HP

●国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/cruise-report/cruise-report.html>

→ 九州管内(下関港含む)のクルーズ振興に関する情報を公表しています。公表済み「九州クルーズレポート」もこちらから確認できます。

●国土交通省 港湾局

http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk4_000019.html

→ 日本国内のクルーズ振興に関する情報を公表しています。我が国港湾のクルーズ客船等の動向や寄港回数のほか、各地のクルーズレポートも確認できます。

